

[報告事項]

平成26年度事業計画

基本方針

鈴鹿法人会は、納税意識の向上、会員企業の研鑽、地域社会へのより一層の公益貢献を図り、公益法人としての使命を達成するため、一体となって組織的な事業活動を展開する。このためには、会員以外にもより活動への参加を求めていく。

また、法人会の目的・使命を達成するため、事業活動においては、原点である「税」に関する活動に軸足を置きながら会員確保及び財政の健全化に力を入れるとともに、地域の活性化に配慮しつつ以下の事業に取り組む。

さらには、「電子申告」についても税務当局と連携しながら、普及推進に努める。

事業活動

1. 税知識の普及と納税意識の高揚に関する事業

一般市民、次世代を担う児童生徒に税の仕組みなどを理解してもらうため、租税教育、租税教室の充実に努めるとともに、これに資する税制関連の研修・行事等の充実に努めるとともに有益な資料を作成する等により適切な広報を実施する。

「税を考える週間行事」の一環としている親子税金クイズは当法人会のメイン行事として実施するとともに、青年部会による「租税教室」、女性部会による「税に関する絵ハガキコンクール」を積極的に推進する。

特に、小学生を対象とした租税教室は、青年部会が製作した、地域色豊かな実写版DVDを活用して実施しているが、評判が良く、今後も一層推進していく。

また、会員企業の税務コンプライアンス向上のため、公益財団法人全国法人会総連合が作成した「自主点検チェックシート」及び「自主点検ガイドブック」を研修会等で配付し、会員自らが自主点検を行う。

(主な事業計画)

新設法人説明会、支部税務研修会、部会税務研修会、親子税金クイズと映画鑑賞会(平成26年11月3日)、小学生を対象にした学校での「租税教室」、夏休み親子映画鑑賞会、税に関する「絵ハガキコンクール」の募集と表彰式、全国大会(栃木)、全国青年の集い(秋田)、全国女性フォーラム(香川)

2. 地域企業及び地域社会への貢献に関する事業

各地域における経済社会環境(地球温暖化問題)の改善、活性化に資する事業の実施または支援を行う。

電力供給不足等に対応するため、引き続き女性部会において節電対策「いちごプロジェクト」（家庭における使用電力の削減運動）の環境活動に取り組む。

（主な事業計画）

親子バスツアー（施設見学）、温暖化防止対策活動（鈴鹿市主催）の参加、鈴亀ジュニアバレーボール大会の協賛、特別養護老人ホーム慰問と車椅子の贈呈、支部教養・健康セミナー、支部・部会施設見学

3. 税制及び税務に関する調査並びに提言に関する事業

地域経済の担い手である企業全般の活性化に資する税制を始め、税のオピニオンリーダーとしてわが国の将来を展望した建設的な提言に努めることとし、税制に関する会員の意見を集約し、その意見が税制に反映されるよう関係機関に対し要望活動を展開する。

（主な事業計画）

地元国会議員・市長・市議会議長への要望活動

4. 法人会の充実発展に資する事業

法人会組織を今後も存続・発展させる観点から、組織基盤強化・維持を図るため、法人会員数確保を目指す諸施策を実施する。

役員の率先した参画や指導のもと新規加入の推進を行うとともに退会防止策を講じる等、より効果的な対応策を展開する。

広報活動は、法人会の知名度向上、会員はもとより、会員外にも会活動の周知、加入勧奨のための広報を充実させるとともに、税の啓発活動、経営支援活動、社会貢献活動等の広報活動を積極的に行う。

ホームページ並びに広報誌による事業活動報告、事業計画等の発信。

広報誌は第1号から市の施設や金融機関、CNSに依頼して配置し会員外の方にも目に付くようにし、第2号からは、エッセーを掲載し、より親しみやすい内容に変えているが、今年度もより推進していく。また、本年も2回発行する。

5. 法人会員の福利厚生に関する事業

法人会の福利厚生制度を取巻く環境は厳しい状況が続いており、引き続き取り扱い3社との連携を一層強化しつつ、福利厚生制度の一層の推進を図り財政基盤の安定化に努める。取り扱い3社との諸施策に積極的に協力し、福利厚生制度の円滑な運営を目指して推進活動を展開する。